

BSOの 情報てんこもり

2014年 6月12日号

制作・発行：(株)BSO 支援企画部

TEL：(06)6351-5836

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆第9回西山杯ゴルフコンペが開催されました

5月31日(土)
「2014年度西山杯ゴルフコンペ」を開催し、西山サロン・西山教室OBの皆様を中心に12名の方々にご参会頂きました。今回のゴルフコンペで何年かぶりの再会をされた方々もおられ、お互いの近況報告、意見交換に大いに盛り上がりました。



近況報告、意見交換に大いに盛り上がりました。



《今回の優勝者》

昭和軽金属工業株式会社 中社長

*次回は秋ごろに開催予定です。

◆社会のクリティカル化と葛藤の世紀の新時代思考

クリティカルとは簡単にいうと人口が多すぎるということです。つまり現代は満員電車で生活しているようなものです。増えると必ず紛争はおきます。この臨界社会の中で、これからますます国境問題が拡大していくことが予想されます。また、我々の価値観が変革していき、葛藤の世紀と呼ばれる時代は100年は続くでしょう。

◎そんな中での新時代思考

我々はいままで社会のプラス化ばかりを見ていましたが、クリティカル化が進めば進むほど、社会のマイナス化を検討しない限り、社会が存在出来なくなってきました。この視点からの社会のあり方、産業のあり方を考えなければ健全な社会づくりは難しいでしょう。

◆極値理論

旧時代は、平均を大前提にした考働が基本でした。確かに、量的パワーを必要とするときにはひとつの捉え方としては意味があります。しかし、現代必要なのは、ベクトルと3σ(シグマ)外の考働が重要な意味を持っています。

◆太陽光利用型水耕栽培場始動のご案内

株式会社舞洲フェルム
(本社：大阪市)では

7月2日(水)太陽光利用型水耕栽培場竣工の運びとなりました。

同社は障害者総合支援法に基づき自立を目指す障害者を継続雇用している

就労継続支援A型事業所で、水耕栽培事業を通じて「作る喜び」「働く喜び」「生きる喜び」という限らない喜びを創り出すことを目的に2013年7月に設立されました。

◎太陽光利用型水耕栽培場とは、植物の成長に必要な太陽の光を思う存分に利用し、ハウスの半閉鎖環境で雨天や温度等の様々な天候条件に左右されずに計画的に野菜を栽培することが出来る栽培場です。

太陽光型水耕栽培場での取り組みとしましては、野菜に多く含まれているカリウムを低減し腎臓疾患をもつ方やカリウム摂取を制限されている方にも生のままで美味しく野菜を食べる頂くために秋田県立大学と提携して低カリウム野菜の栽培(高機能性野菜)に挑戦していきます。他、主な栽培野菜はサラダほうれん草・レタス・水菜等の薬物野菜が中心です。

- ・水耕栽培ハウスの広さ：1935㎡
 - ・栽培ベッド：48ベッド
 - ・栽培パネル：1818枚(1枚60cm×100cm)
 - ・育苗システム：最大容量160トレ(1トレ=288セル)
- 株式会社舞洲フェルム TEL：06-6136-7871



◆仕事を面白くする

人から指示された仕事も勿論ですが、お金を少なくする努力をしながら、自分なりの取組みを積極的に工夫することで面白くない仕事でも面白くすることが出来ます。また、自分の活躍の場を広げる事が出来ます。どのような仕事でも、面白くすることが出来れば面白くない仕事にもなります。自分の貴重な時間を使うのですから、できるだけ仕事は面白くしたいものです。まずは目的を明確にして、出来る限り沢山の目的を持って行動することが、如何に充実した時間を持てるか、重要なポイントになるようです。(西山)

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動(受託事業・企画事業・出版事業)のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。(お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで)

